



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



2024年2月2日

上場会社名 株式会社エディオン 上場取引所 東  
コード番号 2730 URL https://www.edion.com/  
代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長執行役員 (氏名) 久保 允誉  
問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員財務経理統括部長 (氏名) 浅野間 康弘 TEL 06-6202-6048  
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績 (2023年4月1日~2023年12月31日)

## (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	537,608	△0.2	12,277	△13.6	12,572	△10.2	8,051	△14.2
2023年3月期第3四半期	538,554	1.8	14,216	9.1	14,000	△6.2	9,382	△5.1

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 8,526百万円 (△12.2%) 2023年3月期第3四半期 9,706百万円 (△4.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	81.25	72.62
2023年3月期第3四半期	91.92	82.14

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	446,179	208,654	46.7	2,070.59
2023年3月期	369,365	201,656	54.6	2,048.30

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 208,294百万円 2023年3月期 201,656百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	22.00	-	22.00	44.00
2024年3月期	-	22.00	-	-	-
2024年3月期 (予想)	-	-	-	22.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	745,000	3.4	19,500	1.6	19,500	1.3	11,500	0.9	116.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有  
新規 1社 （社名）株式会社サンフレッチェ広島、除外 1社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	112,005,636株	2023年3月期	112,005,636株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	11,408,854株	2023年3月期	13,554,763株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	99,100,107株	2023年3月期3Q	102,071,281株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

この度の、令和6年能登半島地震により被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、長引くロシア・ウクライナ情勢や、原材料・エネルギー価格の高止まりによる物価上昇、また再び円安基調が強まる中で、依然として先行き不透明な状況が続いております。

しかしながら、2023年5月から新型コロナウイルス感染症の「5類感染症」への移行に伴い、経済活動の正常化と消費の回復がより一層進んでおります。

このような状況のもと、当企業グループにおきましては、経営資源の適切な再配分と企業価値の向上を目指し、グループ再編を推し進めております。2022年10月に情報システムの運営及び開発を担う株式会社エヌワーク（現株式会社EDIONクロスベンチャーズ）が株式会社Hampsteadを吸収合併したことに続き、2023年10月に物流・配送サービスを行う株式会社ジェイトップが株式会社e-ロジを吸収合併いたしました。これにより、高まるEC需要を背景に、全国レベルでの当社のサービス提供が出来るよう全国物流網の構築に取り組んでまいります。

また、当社は、株式会社サンフレッチェ広島が第三者割当増資にて発行した普通株式626,387株のうち500,000株を引き受け、2023年9月に払い込みを完了いたしました。これにより、株式会社サンフレッチェ広島は当社の連結子会社となりました。

今後も、これまで以上に地域企業やファンの皆様とともに、クラブの成長と発展を目指してまいります。

当第3四半期連結累計期間の商品別売上におきましては、テレビなどの映像家電を中心に、新型コロナウイルス感染症の「5類感染症」への移行に伴い外向き消費が増加した影響を受け低調に推移いたしました。パソコンなどの情報家電については、前年にwindows8.1のサポート期間終了（2023年1月10日）による買い替え需要があったこともあり、売上は減少いたしました。

一方、平均気温が気象庁の統計開始以降最も高い夏となるなどの記録的な猛暑によりエアコンなどの季節家電が前年を上回りました。また、法改正による駆け込み需要があった携帯電話や、商品供給が安定したゲーム・玩具などは売上が伸びました。

当第3四半期連結累計期間の店舗展開につきましては、2023年12月に横浜市西区の複合商業施設「CeeU Yokohama」内に当社最大級の店舗となるエディオン横浜西口本店を新設いたしました。

「ワクワクを、買いに行こう。- 買い物ゴコロを刺激する、家電と遊びの新体験!-」をコンセプトに、家電だけではなくゲームやおもちゃ、eスポーツ、最新のデジタル体験、美容や健康、リフォームを通じた暮らしの新提案、ECと連携した新しい買い方など、あなたの買いたいに応える、あなたの欲しいを刺激する、エンターテインメントに溢れた出会いや体験を創りだしてまいります。

家電直営店として以下のとおりエディオン横浜西口本店を含む9店舗を新設、6店舗を移転、2店舗を閉鎖いたしました。非家電直営店としては2店舗を閉鎖いたしました。また、フランチャイズ店舗は2店舗の純減少となりました。これにより当第3四半期連結会計期間末の店舗数はフランチャイズ店舗756店舗を含めて1,211店舗となりました。

#### エディオングループ直営店出退店状況

年月	店舗名	都道府県	区分
2023年4月	エディオン 人吉レックス店	熊本県	移転
	エディオン なるばーく鳴海店	愛知県	新設
	エディオン ビバシティ彦根店	滋賀県	移転
	エディオン ららぽーと甲子園店	兵庫県	移転
	エディオン イオン守山店	愛知県	新設
	TSUTAYA 東浦店 (非家電)	愛知県	閉鎖
5月	エディオン 児島店	岡山県	移転
7月	エディオン ダイエー光明池店	大阪府	閉鎖
	TSUTAYA 岐阜オーキッドパーク店 (非家電)	岐阜県	閉鎖
8月	100満ボルト 坂井春江店	福井県	新設
	エディオン 下呂店	岐阜県	閉鎖
9月	エディオン ホームズ南津守店	大阪府	新設
	エディオン 岐阜正木店	岐阜県	移転
10月	エディオン 交野星田店	大阪府	新設
11月	エディオン アミュプラザ長崎店	長崎県	移転
	エディオン 246溝口店	神奈川県	新設
	エディオン ゆめタウン久留米南店	福岡県	新設
12月	エディオン 横浜西口本店	神奈川県	新設
	エディオン イオンモール東浦店	愛知県	新設

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,376億8百万円（前年同四半期比99.8%）と減少いたしました。また、営業利益は122億77百万円（前年同四半期比86.4%）、経常利益は125億72百万円（前年同四半期比89.8%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は80億51百万円（前年同四半期比85.8%）とそれぞれ前年を下回る結果となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産に関する分析

総資産は、前連結会計年度末と比較し768億14百万円増加し、4,461億79百万円となりました。これはエディオン横浜西口本店などの新店の在庫確保のため商品及び製品が219億77百万円増加したこと等により流動資産が180億62百万円増加し、また、エディオンなんば本店の信託受益権取得により建物及び構築物が133億1百万円、土地が450億26百万円それぞれ増加したこと等により固定資産が587億51百万円増加したためであります。

負債は、前連結会計年度末と比較し698億16百万円増加し、2,375億24百万円となりました。これは商品在庫確保に伴い支払手形及び買掛金が199億66百万円増加したことや短期借入金が490億31百万円増加したこと等により流動負債が605億82百万円増加し、また、長期借入金が117億76百万円増加したこと等により固定負債が92億33百万円増加したためであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較し69億97百万円増加し、2,086億54百万円となりました。これは主に、剰余金の配当により43億33百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益により80億51百万円、転換社債型新株予約権付社債の新株予約権の行使による株式の交付等で自己株式が減少したことにより23億78百万円それぞれ増加したためであります。

②連結キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、資金という）は、前連結会計年度末と比較し4億8百万円増加し、136億44百万円となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動におけるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、114億90百万円（前年同四半期に得られた資金は103億11百万円）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益が123億44百万円、減価償却費が77億42百万円、賞与引当金の減少による資金の減少が27億60百万円、棚卸資産の増加による資金の減少が219億42百万円、仕入債務の増加による資金の増加が197億83百万円、未払金の増加による資金の増加が40億28百万円、法人税等の支払額が67億85百万円あったこと等によるものであります。

（投資活動におけるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、652億40百万円（前年同四半期に使用した資金は63億24百万円）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出が639億12百万円、無形固定資産の取得による支出が21億40百万円あったこと等によるものであります。

（財務活動におけるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、541億58百万円（前年同四半期に使用した資金は113億82百万円）となりました。これは、短期借入金の純増額が488億40百万円、長期借入れによる収入が202億円、長期借入金の返済による支出が102億4百万円、配当金の支払額が38億49百万円あったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2023年5月9日公表の業績予想から変更はありません。

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,235	13,644
受取手形	34	1
売掛金	37,961	38,592
商品及び製品	116,061	138,038
その他	18,549	13,663
貸倒引当金	△103	△138
流動資産合計	185,739	203,801
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	52,183	65,484
工具、器具及び備品(純額)	6,023	6,354
土地	57,090	102,116
リース資産(純額)	5,015	4,413
建設仮勘定	1,313	1,532
その他(純額)	499	576
有形固定資産合計	122,126	180,478
無形固定資産		
のれん	1,620	1,804
その他	8,125	8,649
無形固定資産合計	9,746	10,453
投資その他の資産		
投資有価証券	4,019	4,467
差入保証金	27,048	27,179
繰延税金資産	18,614	16,941
その他	2,354	3,111
貸倒引当金	△284	△254
投資その他の資産合計	51,753	51,445
固定資産合計	183,625	242,377
資産合計	369,365	446,179

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	42,764	62,731
短期借入金	60	49,091
1年内返済予定の長期借入金	10,679	9,353
リース債務	913	916
未払法人税等	4,526	798
未払消費税等	2,086	428
賞与引当金	5,553	2,799
契約負債	28,652	24,237
その他	12,603	18,067
流動負債合計	107,841	168,424
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	13,823	11,496
長期借入金	15,859	27,635
リース債務	4,682	4,046
繰延税金負債	427	286
再評価に係る繰延税金負債	1,584	1,584
退職給付に係る負債	7,283	7,033
資産除去債務	10,678	11,503
その他	5,526	5,512
固定負債合計	59,866	69,100
負債合計	167,708	237,524
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,940	11,940
資本剰余金	84,968	85,008
利益剰余金	125,077	128,594
自己株式	△14,992	△12,614
株主資本合計	206,993	212,928
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	138	525
土地再評価差額金	△4,849	△4,647
退職給付に係る調整累計額	△625	△511
その他の包括利益累計額合計	△5,336	△4,633
非支配株主持分	—	360
純資産合計	201,656	208,654
負債純資産合計	369,365	446,179



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	538,554	537,608
売上原価	379,434	380,758
売上総利益	159,119	156,849
販売費及び一般管理費	144,902	144,572
営業利益	14,216	12,277
営業外収益		
受取利息及び配当金	109	134
受取手数料	84	181
受取事務手数料	189	205
その他	657	618
営業外収益合計	1,041	1,140
営業外費用		
支払利息	186	167
寄付金	450	450
持分法による投資損失	329	99
支払手数料	253	92
その他	36	35
営業外費用合計	1,256	845
経常利益	14,000	12,572
特別利益		
固定資産売却益	332	19
投資有価証券売却益	31	2
段階取得に係る差益	—	112
その他	166	16
特別利益合計	530	151
特別損失		
固定資産売却損	88	45
固定資産除却損	159	149
減損損失	4	126
賃貸借契約解約損	59	9
その他	36	47
特別損失合計	347	378
税金等調整前四半期純利益	14,183	12,344
法人税、住民税及び事業税	3,371	3,010
法人税等調整額	1,430	1,308
法人税等合計	4,801	4,319
四半期純利益	9,382	8,025
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△26
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,382	8,051

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	9,382	8,025
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	120	386
退職給付に係る調整額	203	114
その他の包括利益合計	324	500
四半期包括利益	9,706	8,526
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,706	8,552
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△26

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	14,183	12,344
減価償却費	7,849	7,742
のれん償却額	329	198
減損損失	4	126
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5	△13
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,864	△2,760
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△205	△250
受取利息及び受取配当金	△109	△134
支払利息	186	167
持分法による投資損益 (△は益)	329	99
段階取得に係る差損益 (△は益)	—	△112
固定資産除却損	159	149
売上債権の増減額 (△は増加)	△450	△276
未収入金の増減額 (△は増加)	2,830	6,093
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△23,158	△21,942
仕入債務の増減額 (△は減少)	13,829	19,783
未払金の増減額 (△は減少)	2,120	4,028
契約負債の増減額 (△は減少)	△4,699	△5,006
その他	822	△1,670
小計	11,151	18,566
利息及び配当金の受取額	77	99
利息の支払額	△168	△153
助成金の受取額	46	25
寄付金の支払額	△450	△450
法人税等の還付額	2,070	189
法人税等の支払額	△2,415	△6,785
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,311	11,490
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△4,804	△63,912
有形固定資産の売却による収入	952	473
無形固定資産の取得による支出	△1,845	△2,140
投資有価証券の売却による収入	196	14
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	759
差入保証金の差入による支出	△719	△1,452
差入保証金の回収による収入	205	1,262
その他	△310	△244
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,324	△65,240
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△65	48,840
長期借入れによる収入	—	20,200
長期借入金の返済による支出	△1,724	△10,204
自己株式の取得による支出	△2,073	△1
自己株式取得のための預託金の増減額 (△は増加)	△2,926	—
配当金の支払額	△4,014	△3,849
その他	△579	△825
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,382	54,158
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△7,395	408
現金及び現金同等物の期首残高	29,885	13,235
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,489	13,644

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、転換社債型新株予約権付社債の新株予約権の権利行使等により、自己株式が23億78百万円減少しております。この結果により、当第3四半期連結累計期間末において、自己株式が126億14百万円となっております。